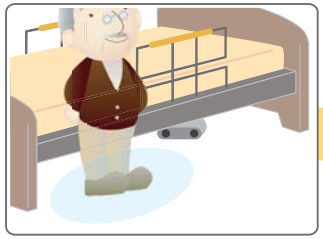
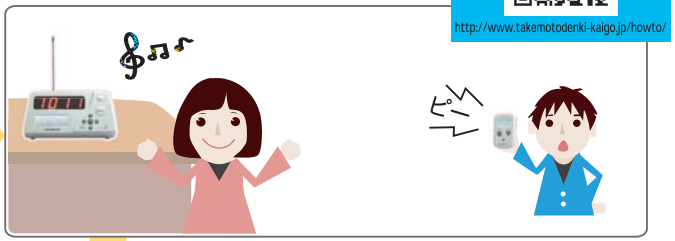
使い方

使い方動画
http://www.takemotodenki-kaigo.jp/howto/

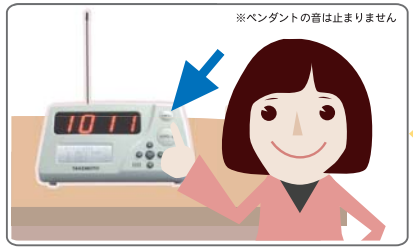
1 センサーが検知すると



2 親機とペンダントへ通知します

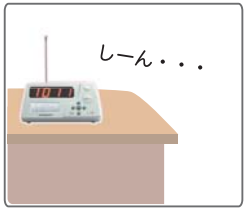


3 親機の「リセット」を押すと音が止まります



4 また、ペンダントの「対応」を押すと・・・

ペンダントと親機の音が止まります

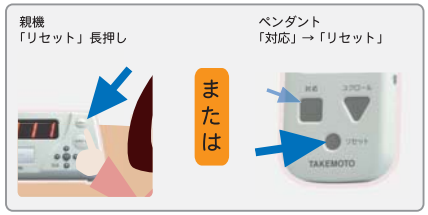


5 居室へ介助に行きましょう

6 5分後・・・

7 自動で表示が消えます

※ すぐ表示を消したいときは・・・



通知後 30秒 は検知をしないインターバル機能があります

使わない時は一時停止ができます
親機でタイマーを入力すると、使用する時間帯を設定できます

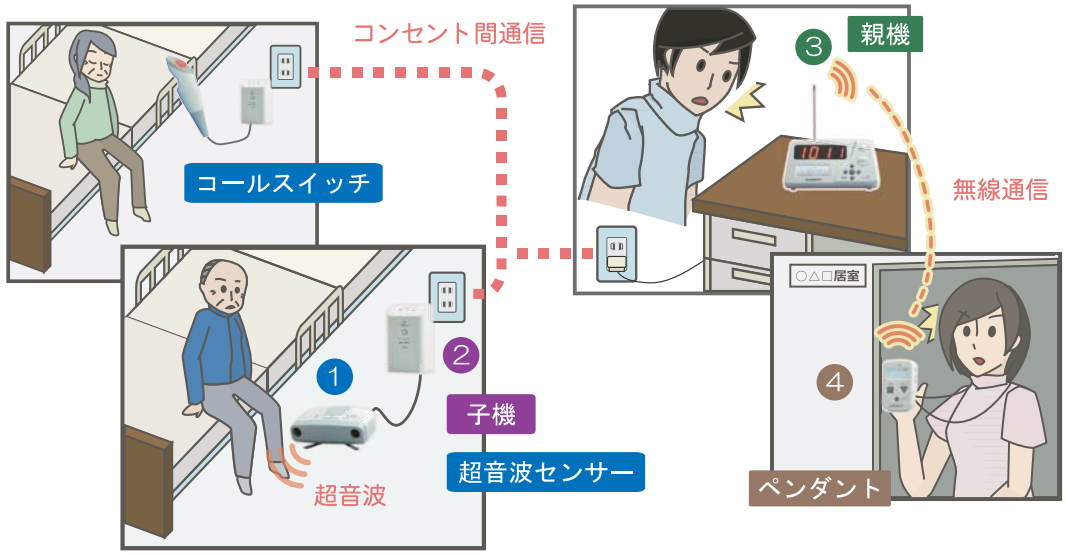
T-46084 2015.07

タケモトデンキ株式会社
〒532-0027 大阪市淀川区田川 3-5-11
TEL:06-6300-2168 FAX:06-6308-7766

(超音波)
離床検知システム

かんたん設置ガイド

Care愛



1 センサーが検知したら・・・
コールスイッチを使えば簡易呼出装置として使用できます。

2 子機から親機へ送信し、
コンセント間の繋がっている電線を使って通信します。

3 親機が家族（スタッフ）にお知らせ！
大型の4桁 LED とメロディにて通知します。

4 ペンダントへも通知！！
親機より無線で4桁の番号を遠隔通知します。

コンセントコール（押しボタン）を使う場合…
1．一時停止中はコンセントコールも停止されます。コンセントコールを使用する場合、一時停止を使用しないで下さい。
2．稼働時間を設定している場合、稼働時間外はコンセントコールも停止されます。コンセントコールを使用する場合、稼働時間の設定はしないで下さい。

1 親機

離床情報をスタッフに通知

● 親機をコンセントに挿しましょう。

親機の電源が入ります。

オプション

ペンダント

スタッフに遠隔通知！

❶ ペンダントの電源を入れて下さい。

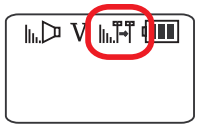
■ 又は ▼ 又は ● ：電源を入れる（長押し）

ペンダントは充電式です。しっかり充電してから使用して下さい。
（5.5 時間充電で 60 時間使用可、充電完了はブザーでお知らせします。）

※ 電池は専用充電池を使用しています。他の電池は使用しないで下さい。

ペンダントの電源が入ります。

❷ 電波が届いていることを確認して下さい。



※ アンテナマークがない場合は取扱説明書 P30 を参照し登録して下さい。

詳しくは取扱説明書 P30

コールスイッチ

簡易呼出ができるスイッチ

❶ コールスイッチを子機に挿して下さい。

❷ 子機の設定後、スイッチを押し、通知が親機・ペンダントへ届いていることを確認して下さい。

2 子機

離床情報を親機へ送信！

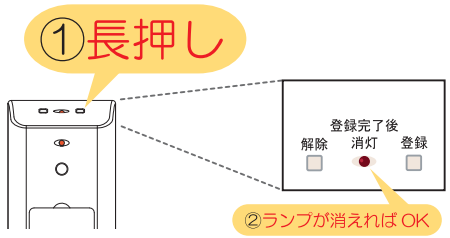
❶ 子機をコンセントに挿しましょう。

子機の電源が入ります。

❷ 通知する番号を親機に登録します。

初期設定では【１１】が通知されます。
番号の変更方法は下を参照下さい。

①子機上面にある「登録」ボタンを長押しして下さい。
上面のランプが点滅します。
②ランプが消えると、親機への登録完了です。



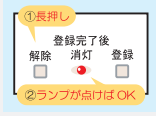
子機を、設置する場所のコンセントに挿しましょう。

●番号の変更をする場合●

※番号の変更は、子機が親機に登録されていないときのみ可能です。
子機が親機から解除されないとできません。

解除の仕方

解除されているか確認！
解除された子機は上面ランプが点灯します。

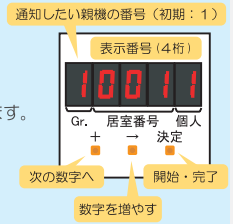


番号変更の仕方

①子機のフタを開けて下さい。

②「決定」ボタンを押すと
番号を変更できます。
点滅している数字を変更できます。

③ 再度「決定」ボタンを押すと
変更が完了します。



番号は任意の４桁の数字を登録できます。
例１：【１０１－１】１０１号室　１番さん
例２：【００２－１】２階公共トイレ１
例３：【０００１】連番で使用

3 超音波センサー

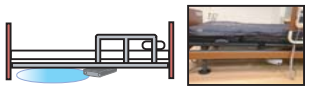
エリアの中の動きを検知！

❶ 何を検知したいですか？

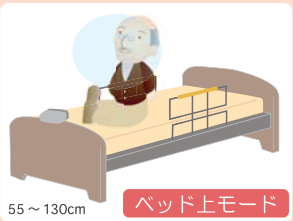
超音波センサーは、シーンに合った使い方ができます。　設置する箇所に応じたモードと取付金具を選びましょう。

立ち上がり を検知

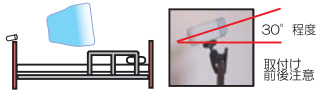
三 脚 or マグネット



起き上がり を検知



ベルト or クリップ



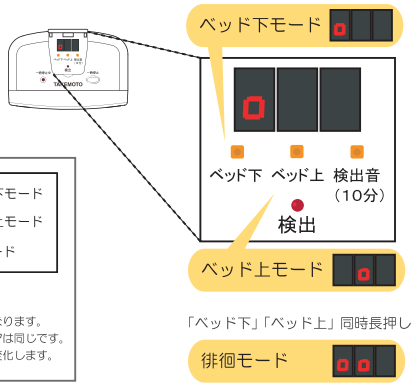
徘徊 を検知

三 脚 マグネット
or
ベルト クリップ

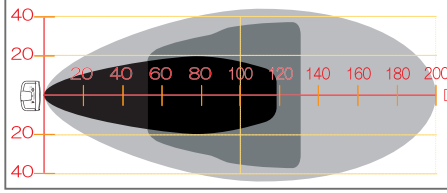
子機とセンサーを繋いでコンセントに挿して下さい。

❷設置しましょう

①センサーのフタを開けて下さい。
②設置する箇所に応じたモードを選んで下さい。
③取付金具を着け、設置しましょう。



検知エリアの目安



：ベッド下モード
：ベッド上モード
：徘徊モード

モードによりエリアが異なります。
センサーが縦横でもエリアは同じです。
設置環境によりエリアは変化します。

※ 使う場所に応じたモードに設定しましょう。設定しないと誤検知の原因となります。
※ センサーは動かないようにしっかりと固定しましょう。

❸ 確認しましょう！

①センサーの「検出音」ボタンを押せば、検出するとセンサーよりブザー音が鳴ります。
設置時検知エリアを確認して下さい。
②子機にてコンセント間通信のレベルを確認して下さい。
③センサーが検知すると、親機へ通知することを確認しましょう。

通信レベルを表示する

子機の決定ボタンの長押しで、通信強度を表示します。（表示が [-----] のとき）
通信強度は0～9の１０段階（０：最小 ～ ９：最大）

r9 ：子機から親機への通信強度

t8 ：親機から子機への通信強度

※ 目安として、５以上あれば安定してお使い頂けます。